



【アブラキサン+サイラムザ療法について】



ID:

様

1

コース目



お薬の名前と治療のスケジュール(副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目
デキサート注	アレルギー予防・吐き気止め	15分																													
サイラムザ注	分子標的薬	初回1時間 2回目以降30分																													
アブラキサン注	抗がん剤	30分																													



この週は
お休みです。



治療による副作用

: 注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目
自覚症状	アレルギー様症状																													
		発熱や寒気、吐き気、頭痛、めまい、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																												
	食欲不振・吐き気																													
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																												
	関節痛・筋肉痛																													
		肩や背中、腰や腕などの筋肉が痛くなったり、関節が痛くなることがあります。																												
検査値	口内炎																													
		口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかり行いましょう。																												
	手足のしびれ																													
		手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。																												
	爪症状																													
		爪の変色、爪の周囲が赤くなったり痛いなどの症状がありましたらお知らせ下さい。																												
	脱毛(頭髮・まつ毛・眉毛など)																													
		髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																												
	白血球減少																													
		感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																												
	赤血球減少(貧血)																													
		貧血の症状(動作時の息切れ、動悸)がでたりします。転倒に注意しましょう。																												
	血小板減少																													
		出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																												
	肝機能低下																													
		体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなることがあります。																												

以下の副作用は、起こりやすい時期はわかりませんが、早めの対応が必要な副作用です。気づいたことがあればお知らせください。

- 血圧上昇 ●出血(鼻血など) ●タンパク尿 ●胃腸穿孔(下痢や腹痛が続く、激しい腹痛など) ●傷の治りが遅い
- 血栓・塞栓(足が腫れたり痛む、息苦しい、胸痛、片側のまひ、言葉がうまく出ない、気分が悪い、めまいなど)



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

香川大学医学部附属病院薬剤部